

より多くのお客様が体験できる環境を実現 TOTOミュージアムが「バーチャル見学」を開始

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:清田 徳明)が運営するTOTOミュージアムは、パソコンやスマートフォンなどからオンラインで自由に館内見学を体験できる「バーチャル見学」を、2022年6月30日より開始します。

1917年に創立したTOTOは、日本にまだ下水道が整備されていない時代から国民の健康で文化的な生活を願い、これまで水まわりにおける新たな生活文化の創造に努めてきました。そして、創立100周年を機に、TOTOが次の100年も水と地球の未来を守っていくためには、いま一度創業の精神に立ち返ることが大切であるという想いを込めて、2015年にTOTOミュージアムを開設しました。館内では、水まわりの文化や歴史とともに、TOTOのものづくりへの想いや商品の進化について紹介しています。開設以来、多くのお客様に来館いただき、2022年5月には来館者総数40万人を突破しました^{※1}。

今回の「バーチャル見学」は、TOTOミュージアムへ直接来館するのが難しいお客様にも同様に見学いただくことを目的に、館内を3D撮影してバーチャル空間化したものです。これによって、さらに多くのお客様にTOTOミュージアムを知っていただくことが可能になりました。また、多言語対応^{※2}や自動案内機能などの見学オプションも充実しています。

TOTOミュージアムは、さまざまなお客様との接点の場として、また創立の地「小倉」から世界へTOTOブランドを発信するランドマークとして、今後もリアル・バーチャルともに魅力ある施設を目指していきます。

※1: 来館者総数は、実来館者を対象に算出したものです。

※2: 対応言語は、日本語、英語、中国語(繁体字/簡体字)、韓国語、マレー語、インドネシア語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、ゲジャラート語、タイ語、ヒンディー語です。そのほか、ベトナム語、アラビア語も順次追加予定です。



TOTOミュージアム



「バーチャル見学」の操作画面(第一展示室)

TOTOミュージアムの「バーチャル見学」の特長

- ① 国内外問わず館内をご見学いただけるよう多言語に対応
- ② 初めのご見学でも使いやすい、館内のおすすめコースの自動案内
- ③ お好みの展示までスキップできるハイライト機能

TOTOミュージアムの「バーチャル見学」は、以下URLよりお楽しみいただけます

<https://jp.toto.com/pages/knowledge/visit/museum/vr/>

各種展示室

第一展示室

森村組に始まる創業のルーツと歴史、そしてその発展を主に紹介しています。また、国産初の腰掛式水洗便器や創立当初から約50年にわたってTOTOを支えた食器なども展示しています。加えて、TOTO商品の製造工程の一部も説明しています。



初代腰掛式水洗便器(復元)



創立当初から約50年間製造してきた食器

第二展示室

TOTOの礎を築いた先人の想いや受け継ぐべき教訓を紹介しています。また、日本における水まわり生活の変遷を紹介するとともに、TOTOがこれまで生み出してきた衛生陶器、水栓金具、ウォシュレットなどの商品を中心に、時代の象徴となった著名な建築物に設置されていた代表的な商品も展示しています。



「TOTOのこころざし」コーナー



商品の変遷コーナー

第三展示室

アメリカ、中国大陸、アジア・オセアニア、欧州など、世界で販売している商品をエリア別に展示しています。その国のTOTOになることを目指し、それぞれの地域のニーズに合わせた商品開発を行っていることについて紹介しています。



海外商品が展示されているグローバルギャラリー

新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030

きれいと快適



環境



人とのつながり



「環境・社会的価値」と「経済価値」を同時に実現する新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030では、「きれいと快適」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」として経営とCSRの一体化に取り組み、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にも貢献していきます。

<https://jp.toto.com/company/profile/philosophy/managementplan>